

あいち農産物生産流通レポート

平成23年7月号

◎情報サロン		
・あなたの食の知識を試してみよう		
「あいち食育いきいき検定2011」が始まりました！		
	(食育推進課)	1
◎地域トピックス		
・愛知県もも現地研究会を小牧市で開催		
	(尾張農林水産事務所)	2
◎東日本情報		
・新品種の開発とブランド化の取り組みについて		
	(東京事務所)	3
◎西日本情報		
・施設園芸における国内クレジット制度の取組		
	(園芸農産課)	6
◎フラワーページ		
・「あいちの花」フェアで、県産花きをPR		
	(東京事務所)	8
◎青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		10
・名古屋・東京市場における青果物の7月の見通し		11
◎花 き		
・切花・鉢花の7月の見通し(県内市場)		23
◎輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2011年4月)		27
◎関連指数		28

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

あなたの食の知識を試してみよう 「あいち食育いきいき検定2011」が始まりました！

愛知県では、県民の皆さんに食に関する知識や関心を深めていただくため、今年度で3回目となる、インターネットを利用した食育検定「あいち食育いきいき検定2011」を実施しています。

◇検定の内容

食育に関する25問の問題に、3つの選択肢から解答し、8割以上正解すると「合格」となります。もちろん、**受験料は無料**です。

栄養バランス、郷土料理、あいちの特産物など、幅広い分野から毎回違った問題が出題され、詳しい解説や得点分析も表示されるので、楽しみながら食育の知識を深めることができます。

◇受験コース

「こどもコース」と「一般コース」から選択できます。
(こどもコースは、小学5年～中学生程度を対象とした内容です)

◇実施期間

【サマーチャレンジ】平成23年6月30日(木)～9月9日(金)

【オータムチャレンジ】9月19日(祝)～12月9日(金) (いずれも初日は午前9時より、

【ウインターチャレンジ】12月19日(月)～翌3月9日(金) 最終日は午後5時まで)

◇今年度の特徴

⇒夏・秋・冬の3期に分けて実施。

「あいち食育いきいきプラン2015」の3つの柱「体」「心」「環境」をそれぞれ、夏・秋・冬の重点出題テーマとして設定しました。各期で問題も入れ替わりますので、何度チャレンジしても楽しめます。

⇒抽選でのプレゼントも。

3期のうち、同一コースにて2期以上合格すると、抽選で食育グッズの詰め合わせ「あいちの食育お楽しみ袋」をプレゼントいたします。

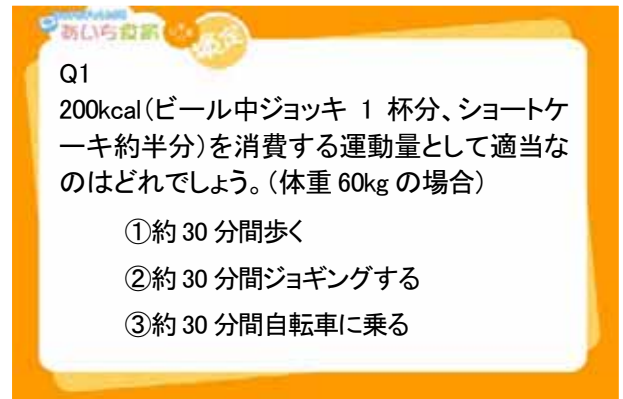
◇受験方法・・・

愛知県の食育ウェブサイト「食育ネットあいち」にアクセスし、



(あいち食育いきいき検定)のボタンより、検定案内ページにお進みください。

(食育ネットあいち URL→ <http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/>)



例えばこんな問題が出ます。(答えは下に)



得点分析で、あなたの苦手な分野も一目瞭然

愛知県もも現地研究会を小牧市で開催

平成23年6月14日(火)に小牧市で愛知県もも現地研究会が開催されました。午前中はもも園の現地視察が、午後には講演会が行われ、もも栽培農家を中心に約140名が参加し、盛況な研究会となりました。

小牧市は、もも栽培に適した土地であることから、昭和初期からももが栽培され、戦後は愛知県を代表する産地となりました。近年は都市化と栽培農家の高齢化が進み栽培面積は縮小傾向にありますが、都市近郊の地の利を活かした直売や優良品種の導入など産地の活性化を図っています。



多くの参加者で盛況な現地視察

午前のもも園現地視察では、当地区の代表的な農家の栽培園地が2か所紹介されました。県農業改良普及課の普及指導員が栽培技術や生育状況を説明し、袋掛けが済んだもも園で参加者の活発な情報交換が行われました。今年のももの生育は春の低温により開花が1週間程遅れましたが、その後は病虫害も少なく順調で、収穫は5日程遅れる予想ですが、収量、品質共に期待できます。

午後の講演会では、「四十半ばからの第二の青春」の演題で、タレント兼漫才師の辻イト子氏の講演がありました。辻氏は大阪府岸和田市在住で、みかん農家の一人娘として生まれ、40歳半ばで芸能界に飛び込んだ異色のタレントです。現在はみかん農園と芸能プロダクションを運営していて、大阪弁おばちゃんタレントとしてCM等に幅広く活躍されています。講演では、普通の兼業農家の主婦が、知的障害のある長女の子育てや脳卒中で倒れた実父の介護で苦労した日々の中で、こうあるべきだという従来の固定観念から離れることにより、いろいろな喜びを発見できることに気付かされた体験を話されました。笑いあり、涙ありの話には、喜びが生きる力になり、チャレンジはいくつになってもできるという力強いメッセージがあり、あっという間の90分間でした。



タレント兼漫才師の辻イト子氏による講演会

震災や不景気等暗い話題が多い中、「お母ちゃんが元気になれば、家庭が元気になり経営が元気になり地域が元気になる。」という辻氏の話には参加した男性たちも大きくうなずいていました。

「食べる物を作る農業は強い産業であり、素晴らしい産業です。」と締めくくった辻氏の講演は、元気を与えてくれるものでした。

新品種の開発とブランド化の取り組みについて

6月9日（木）に三会堂ビル（東京都港区赤坂）において、新品種産業化研究会が開催され、品種の特性を生かしてブランド化に取り組んでいる山形県の「つや姫とブランド化戦略」について、講演がありました。

1 品種育成の経緯

山形県の農業は米価下落、生産者の高齢化、産地間競争などの影響で低迷しており、米の銘柄産地としても新潟県や秋田県の認知度には大きく及ばない状況にありました。また、主力品種「はえぬき」は業務用中心で、全国的に作付けが広がらず、米価は他品種と比べて安値となっていました。そこで、山形県では日本を代表するブランド米を作るために、平成10年から育種に取り組み、「つや姫」を誕生させました。



2 「つや姫」の特徴

「つや姫」は、旨み成分のグルタミン酸、アスパラギン酸を多く含むため食味が良く、炊飯光沢に優れており、総合評価では「コシヒカリ」を上回る品質を有しています。



パンフレットより抜粋

3 推進体制

平成19年、知事をトップに県、全農山形県本部、山形県米穀集荷協同組合で構成する「つや姫」ブランド化戦略会議を立ち上げました。平成20年には、「つや姫」ブランド化戦略実施本部を設立し、学識経験者、マスコミ、農業生産団体等外部委員を登用して「つや姫ブランド化戦略」を策定しました。

「つや姫ブランド化戦略」は、日本一おいしい米として全国の消費者に評価されるブランド米づくりを3か年の目標に定め、「高級感のあるおいしい米」という商品コンセプトを実現するため、品質・食味・安全の三位一体の栽培方法を重視し、ターゲットユーザーを「産地銘柄やロコミによる評判等で米を選ぶ家庭やホテル・旅館、料理店」としました。

4 具体的な取り組み

<平成20年度>

品種名を決めるにあたり、約3万件の公募の中から7件を絞り込み、県民投票を行って平成21年2月23日に「つや姫」に決定しました。

また、ブランドコンセプトづくりをおこない、「つや姫」の背景、魅力がイメージできるようなメッセージを作成しました。

適地マップを作成して栽培適地を限定し、県知事が認定した生産者のみが

生産できる体制とし、生産方式は、第三者認証機関の認証を前提とした有機栽培、特別栽培に限定しました。

ブランドコンセプト

「つや姫」。

日本一を誇るブナの原生林が育む滋養に満ちた水系、先人の知恵と四季鮮やかな山形の風土が生んだ、わが国の美味しいお米のルーツとなる「亀ノ尾」。

その正統の系譜から、ついに新ブランド米が誕生しました。

際立つ「粒の大きさ」、「白い輝き」「旨さ」、「香り」、「粘り」は、ごはんそのものがご馳走。

味わうほどに至福の喜びに満たされます。

山形の農の匠が丹誠込めて育てる、安全で、おいしさを極めた特別なお米。

日本中の、何よりも「白いごはん」が大好きな人にお届けします。

<平成21年度>

ロゴマーク、キャッチフレーズ及び米袋デザインを決定しました。

また、「つや姫」ブランドで出荷できる品質を玄米粗タンパク質含有率6.4%以下（玄米水分15%換算）のものに限定した上で、東京都、愛知県など18都府県の米穀専門店、生協、農協、量販店、料理店、ホテル旅館等で約400トンの先行販売をおこなった結果、消費者・実需者の95%が「おいしい」と評価し8割以上が購入希望であることを検証しました。

キャッチフレーズ

「お米はここまで美味しくなれる。山形から日本の新しいお米」

「炊いてほれほれ。冷めても美味しい。山形から日本の新品種」

「おいしさ、つやにでる。山形から日本の新しいお米」。

5 積極的な販促・PR活動

2010年10月10日10時10分と10が並ぶ時刻に合わせ、グランドプリンスホテル赤坂で全国デビューし、その後、知事による店頭トップセールスを東京、名古屋、大阪などで開催しました。

また、関東キー局でのテレビCM、新聞・ラジオ及び雑誌広告などを行いました。また、全国放送のTV・ラジオ番組で20回以上「つや姫」の話題が放映され、雑誌60誌でも紹介されました。なお、山形つや姫取扱協力店での店頭試食キャンペーンも約400店舗で実施しました。

6 平成22年度の販売実績

平成22年度は、2,520名の生産者が2,466ha作付し、平均反収527kg/10a、生産量約1.2万トン、一等米比率98%、玄米粗タンパク質含有率基準値(6.4%)の適合率92%という高い生産実績となりました。現在、京都吉兆、菊乃井等

の高級料亭や ANA 国内線プレミアムクラス機内食で採用されるなど、評価は高まってきています。

7 今後の取り組み

平成 25 年度までに 3 万トンを通年供給できる生産体制づくりを進めることとしていきます。

また、玄米粗タンパク率 6.4%以下の米だけを有機、特別栽培で出荷し、百貨店や米穀専門店で重点販売するとともに、高級料理店での利用拡大を図ることで、コシヒカ리를超える価格ポジションをめざす目標を掲げています。

さらに、今後も知事トップセールスを始め、テレビCM、新聞広告、雑誌広告、インターネット等マスメディアを活用したブランドイメージの発信を図るとともに、スポーツ、映画、観光事業と連携した販促、やまがた特命観光・つや姫大使によるPR及び継続的な販売開始イベントなどの充実を図っていく予定です。

8 まとめ

「つや姫」のブランド化は確立されつつあり、生産・販売・流通体制も整備されています。ブランド化の取り組みが成功した理由として、第1に関係機関が連携し県をあげた取組みがされ、明確な生産、販売戦略に基づいて推進してきたことがあげられます。特にターゲットユーザーを明確にイメージし、食味、品質にこだわり、厳格な生産基準のもとでブランドにふさわしい米作りを推進してきた点が大きいと言えます。第2に、「つや姫」名称の公募、先行販売による消費者の反応など川下ニーズを把握して、販売戦略に生かそうとした点です。第3に、テレビCM、新聞、雑誌などマスメディアを活用した点です。コストがかかるため、一般的には実施が難しいものですが、最終的に「つや姫」の知名度をアップさせることにつながったようです。

「つや姫」ブランド化の事例は、本県がすすめる農産物のブランド化推進にとってもヒントになるものが多いものと考えます。

施設園芸における国内クレジット制度の取組

1 国内クレジット制度（国内排出削減量認証制度）とは

国内クレジット制度は、「京都議定書目標達成計画」（平成 20 年 3 月閣議決定）に基づく制度で、大企業等による技術・資金等の提供を通じて、農林漁業者を含む中小企業等が行った温室効果ガス排出削減量を認証し、大企業の自主行動計画の目標達成等のために活用する仕組みです。平成 20 年 10 月から政府全体の取組として始まりました。

2 国内クレジット制度の活用

この制度の対象になる取組（排出削減事業）は、国内クレジット認証委員会が承認した排出削減方法論（省エネ技術）に基づいていることや、設備導入に要する投資の回収期間が概ね 3 年以上であることなどの要件を満たしていることが必要です。

制度を活用するために必要な排出削減事業計画や実績報告書の作成などについては、経済産業省の委託を受けたソフト支援実施機関の支援（無償）を受けることができます。

3 国内クレジット制度への取組状況

本県の農林水産業関係者からは、11 件の申請があります（10 件が施設園芸関係、1 件が養鶏）。うち計画承認は 9 件、国内クレジット認証は 2 件となっています（クレジット量 1,923t-CO₂）

本県では、燃油価格高騰対策として、園芸施設へのヒートポンプの導入が進んでいます。こうした省エネの取組を、国内クレジット制度の活用を通じて CO₂ 排出削減の取組に位置づけ、地球温暖化に配慮した施設園芸として PR することが期待されます。

本県からの農業関係者からの申請・認証状況（平成 23 年 5 月 30 日現在）

市町村	排出削減者 (クレジット売り手)	排出削減事業 共同実施者 (クレジット買い手)	排出削減事業 の概要	排出削減 事業計画 の申請	排出削減事業 の承認		クレジット認証	
					年平均削減 見込み量 (t-CO ₂ /年)	延べ クレジット量 (t-CO ₂)		
田原市 豊橋市	一般社団法人 エコアース	丸紅(株)	菊生産における電照用機材 を白熱電球からLED電球に 更新	H21.5	H21.8	309	H23.3	269
西尾市	みかわ農業振興 協同組合	中部電力(株)	バラ園におけるヒートポンプ の導入	H21.7	H22.1	768	H22.12	1,654
豊川市 田原市 豊橋市	東三河ヒートポンプ 省エネルギー研究会	(株)日本環境 取引機構	大葉、バラ、胡蝶蘭栽培8園 におけるヒートポンプの導入	H21.12				
田原市	小久保芳弘	伊藤忠商事(株)	園芸施設におけるヒートポン プの導入	H22.12	H23.3	54		
田原市	伊藤農園	カーボンフリー コンサルティング(株)	大葉栽培施設におけるヒート ポンプの導入	H23.1	H23.3	131		
田原市	河合農園	カーボンフリー コンサルティング(株)	大葉栽培施設におけるヒート ポンプの導入	H23.1	H23.3	71		
田原市	(有)グリーンファーム 樺山	カーボンフリー コンサルティング(株)	園芸施設におけるヒートポン プの導入	H23.1	H23.3	86		
吉良町	藤井花園	カーボンフリー コンサルティング(株)	園芸施設におけるヒートポン プの導入	H23.1	H23.3	56		
田原市	(有)前田園芸	カーボンフリー コンサルティング(株)	大葉栽培施設におけるヒート ポンプの導入	H23.1	H23.3	58		
設楽町	奥三河チキン ファーム(株)	カーボンフリー コンサルティング(株)	鶏舎における照明設備の更 新(LED化)	H23.3				
愛西市	LovED the earth	三菱UFJリース(株)	電照菊栽培ハウスにおける 照明設備の導入(LED化)	H23.3	H23.3	184		

(注)国内クレジット制度における農林水産分野関連の排出削減事業計画申請受付案件等一覧（農林水産省HP公表資料）、国内クレジット認証委員会公表用資料を基に作成。

【図表など】

国内クレジット制度の活用状況(平成 23 年 5 月 30 日現在)

	全体	うち 農林水産業 関係者	農林水産業関係者の内訳				
			農業関係者	うち愛知県	林業 関係者	水産業 関係者	
排出削減事業計画申請件数	908	103	66	11	35	2	
排出削減事業計画承認件数	663	80	48	9	31	1	
国内クレ ジット認証	認証件数	355	65	29	2	35	1
	クレジット量 (t-CO ₂)	195,120	70,952	13,341	1,923	56,965	646



ハウスみかん栽培施設に導入
されたヒートポンプ



電照栽培で期待される
LEDランプ

東京事務所

「あいちの花」フェアで、県産花きをPR

梅雨入りし、あいにくの曇雨天が続いた6月6日（月）～10日（金）に、大田市場花き棟内にある仲卸業者・大田フレッシュフラワーズの店頭においてJA あいち経済連が中心となって「あいちの花」フェアを開催しました。

これまでの消費拡大フェアは、生産部会単位で行う単品のPRが中心でした。しかし今回のフェアは、生花店の仕入れ担当者など買参人に対し農協や品目の枠を超えた各産地合同のPRを行うことで、本県産花きの良さをより多く知ってもらうことを目的におこないました。

販売した品目は、アルストロメリア、ガーベラ、かすみ草、グロリオサ、ケイトウ、サンタンカ、デルフィニウム、ひまわりの8品目で、県内5農協から出荷された花です（下表参照）。品目ごとに品種名と農協名がわかるようにプレートをつけ、花束を包むセロファンには「あいちの花」のシールを貼付しました。

なお、切り花のセリがおこなわれる6日（月）、8日（水）、10日（金）には、JA あいち経済連東日本営業所を始め、JA 愛知みなみ東京営業所、JA 豊橋及び東京事務所の職員が早朝より店頭で、花きカタログを配布しながら、訪れる買参人にPRしました。



仲卸の店頭での販売

さて、今回のフェアにあわせて買参人に対して、花の購買行動に関するアンケート調査をおこない、生花店、デザイナーなど31名から回答がありました。

アンケート結果からは、購入にあたり、価格、日持ち性、ボリューム、品質揃いを重視する傾向が強く、産地にはこだわらない買参人が半数にのぼることがわかりました。

あいち花フェアで販売した品目及び産地 一覧

品 目	品 種 数	産 地 名
アルストロメリア	10	JA愛知みなみ
ガーベラ	12	JAひまわり
かすみ草	1	JA愛知みなみ
グロリオサ	10	JA愛知みなみ、JA豊橋、JA愛知中央
ケイトウ	3	JA豊橋、JAあいち知多
サンタンカ	1	JAあいち知多
デルフィニウム	8	JA豊橋
ひまわり	1	JAあいち知多

市場内には仲卸会社が 20 社近くあり、同一品目の花きが複数の仲卸会社で取り扱われているため、気に入った花を見比べながら選べる有利性を活かして購入しているものと思われます。

今回のフェアは単品のフェアと比べてより多くの買参人が来訪し、購入していきました。一方で買参人の多くは、予め購入する花の種類を決めていることから、購入予定以外の花についての関心は少ないようでした。

以上の購買行動を踏まえて、今後は、POPなどを使って「あいちの花」が一目で分かるようにディスプレイするとともに、産地情報、品種カタログなどを積極的に活用したPRを行う必要があるものと考えます。

また、スプレーマム、バラ、カーネーションなど本県が得意とする品目をフェアに加えることで、一層の集客を図ることができるものと思われます。



デルフィニウムを購入する買参人



JA愛知みなみのPOP

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ±2%台以内
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：アールスメロン）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
22年実績	627	97 (16%)	607	497	愛知 (52%) 静岡 (30%)
23年見通し	560	—	600	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>主な産地は東三河地域。曇天が続き、日照不足であることに加え、原油の価格が上がっているため、ネットにひびが入ったり、玉割れするなど生育状況が良くない。農家が減少傾向にあるため、入荷量は前年度比80%程度の見込み。 単価は、8月初めからお盆の時期にかけて値決めが行われるため、安定している。</p>			<p>愛知産のものが7月初めから始まり、8月ごろから茨城産へと産地が切り替わる。静岡では年間を通して栽培している。 年々高い商品が売れなくなってきているため、需要が落ち込み気味。メロンから、トマトやきゅうりに転作するなど、農家も減ってきている。 消費拡大に向けて、大型スーパーなどで試食宣伝会なども開催している。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：とうがん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
22年実績	671	245 (37%)	122	145	神奈川 (28%) 静岡 (18%) 茨城 (9%)
23年見通し	600	—	134	—	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>沖縄産が6月中旬でほぼ終了し、愛知、神奈川、静岡などが出荷の中心となる。 本県産の出荷開始は6月上旬で、本格的な出荷は6月中旬から、ハウスもののピークは6月下旬にあり、露地もののピークは8月お盆前と予想される。各産地ともに早い梅雨入りの曇天等の影響で遅れぎみで、作柄不良も懸念される。 全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>			<p>需要増加のためには、料理方法の提案などにより一般家庭での消費拡大が必要である。 毎年、言っているが、出荷時における若採りと表皮の粗毛除去を励行し、形や色を揃えるなど高品質の保持に努めて欲しい。特に県内の一部産地で玉回しが不十分なため果皮が濃緑色に揃わないものがあるので、適切な栽培管理に努めて欲しい。 また、何と云っても、安定的な出荷をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の7月の見通し

名古屋市中央卸売市場

6月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	18年	33,256	208	200	195	227	長野 24%
	19年	32,946	208	191	210	220	北海道 12%
	20年	34,757	184	203	193	159	愛知 11%
	21年	30,896	201	194	211	199	兵庫 8%
	22年	30,577	229	221	236	232	
	計	5ヵ年平均	32,486	206	—	—	—
	23年見通し	31,900	210	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>野菜全体で、九州などからの西から、長野、青森、北海道などの高冷地への産地の切り替わりが始まった。4月から消費低迷が続いているため、単価が非常に下がっている。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
だいこん	18年	2,008	104	85	106	122	青森 50%
	19年	2,208	78	64	87	82	北海道 35%
	20年	2,139	64	70	62	59	岐阜 11%
	21年	1,982	83	86	83	81	長野 3%
	22年	1,664	90	80	105	90	
	計	5ヵ年平均	2,000	83	77	88	86
	23年見通し	1,700	75	75	75	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>平坦地の産地が終了し、青森、北海道へと切り替わった。青森はごぼうへと品目転換する農家が多く、作付面積が1～2割減少。北海道は生育遅れのため、7月上旬は少ない。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は大幅に下回る見込み。</p>							
にんじん	18年	1,991	191	214	195	170	北海道 50%
	19年	1,951	115	120	112	114	青森 44%
	20年	2,025	113	164	107	74	中国 2%
	21年	1,721	148	135	149	159	和歌山 1%
	22年	1,526	203	199	201	208	
	計	5ヵ年平均	1,843	152	166	150	141
	23年見通し	1,700	160	160	160	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は青森、北海道を中心に入荷。北海道の一部地域では6月に雹が降った影響で、作柄が悪い見込み。</p> <p>全体での入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

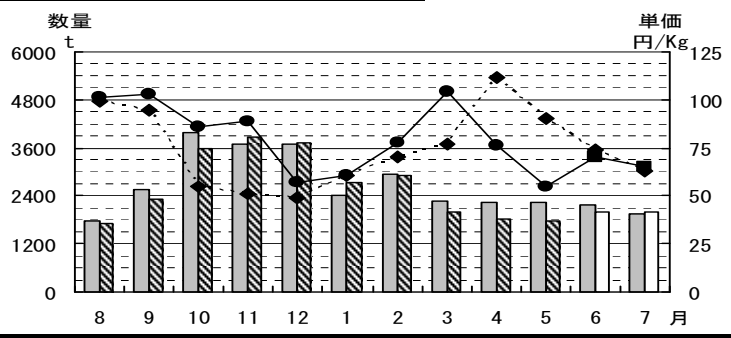
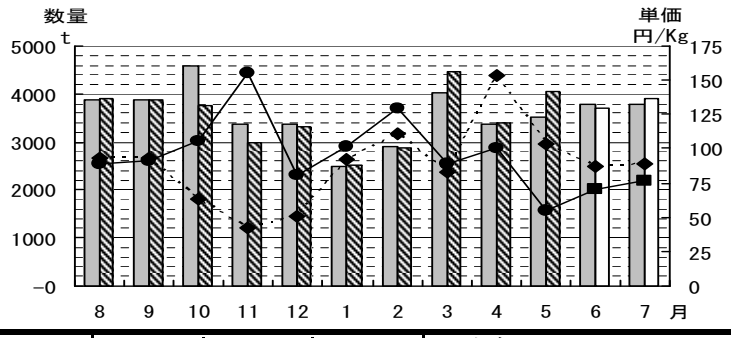
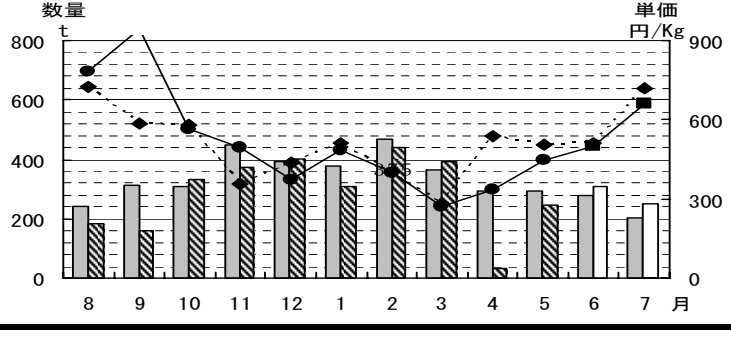
6月23日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	18年	122,078	231	215	218	260	群馬 14%
	19年	123,499	230	206	234	247	長野 13%
	20年	132,422	202	229	199	180	茨城 13%
	21年	126,213	219	216	222	220	青森 8%
	22年	122,704	237	226	245	242	(愛知産比率 1%)
計	5カ年平均	125,383	224	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	121,000	235	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、長野の高冷地と東北産地からの入荷が本格化する時期となる。 各品目とも概ね順調な入荷が期待できるものの、低温、日照不足など天候不順の影響による遅れや小玉傾向も見られる。入荷量はわずかに下回り、価格は前年並み見込み。</p>					
だいこん	18年	8,500	101	84	101	117	北海道 51%
	19年	9,415	79	67	89	81	青森 41%
	20年	9,774	65	72	58	65	岩手 3%
	21年	9,226	78	87	74	74	群馬 2%
	22年	8,799	90	81	103	86	(愛知産比率 -%)
計	5カ年平均	9,143	82	78	84	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	8,500	90	85	95	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森に加えて、北海道が本格出荷する。北海道は4月・5月の降雨・低温の影響により1週間程度の生育遅れがみられる。青森も定植遅れのは場もある。7月中は遅れ回復が追いつかず、入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年並となる見込み。</p>					
にんじん	18年	5,850	193	197	196	185	青森 45%
	19年	7,300	106	106	101	111	千葉 27%
	20年	7,212	115	149	104	87	北海道 18%
	21年	5,909	137	118	140	152	中国 5%
	22年	5,514	181	170	184	189	(愛知産比率 -%)
計	5カ年平均	6,357	143	146	141	140	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	6,100	130	120	135	135	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉に加えて、青森、北海道からの入荷が増える。青森は震災の影響から播種時期が1週間適度遅れたものの好天により回復、北海道、千葉ともに生育順調である。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	18年	2,487	78	72	70	93	長野 95% 群馬 4% 岐阜 0% 茨城 0%
	19年	2,612	73	63	70	85	
	20年	2,234	78	97	69	68	
	21年	1,810	68	59	72	74	
	22年	1,956	63	51	72	70	
さい	5カ年平均	2,220	73	69	70	79	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	2,000	65	60	70	65	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は長野中心。景気後退により、量販店での1/4カットや、加工・業務量の需要が減ってきている。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					 <p>数量 t / 単価 円/kg 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月</p>
きゃべつ	18年	4,070	71	72	62	80	群馬 43% 長野 27% 茨城 21%
	19年	3,894	104	92	112	107	
	20年	3,978	71	79	68	68	
	21年	3,853	69	71	68	67	
	22年	3,792	89	77	100	91	
べつ	5カ年平均	3,917	81	78	82	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	3,900	77	70	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は群馬、長野中心。生育は両県とも順調だが、長野では作付面積が減っている。愛知では露地メロンやスイカに品目転換する農家が増えている。販売面でも全体的に苦戦している。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					 <p>数量 t / 単価 円/kg 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月</p>
ほうれんそう	18年	263	652	621	583	788	岐阜 84% 茨城 4% 長野 4% 北海道 3%
	19年	268	695	650	717	719	
	20年	248	583	627	584	533	
	21年	274	571	520	572	622	
	22年	202	719	636	771	777	
れん	5カ年平均	251	641	609	640	685	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	250	660	610	660	710	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は岐阜飛騨中心で、他に北海道。生育状況は、梅雨の影響がでるか心配だが、今のところ順調。10,000から12,000ケースの入荷が見込まれる。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					 <p>数量 t / 単価 円/kg 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月</p>

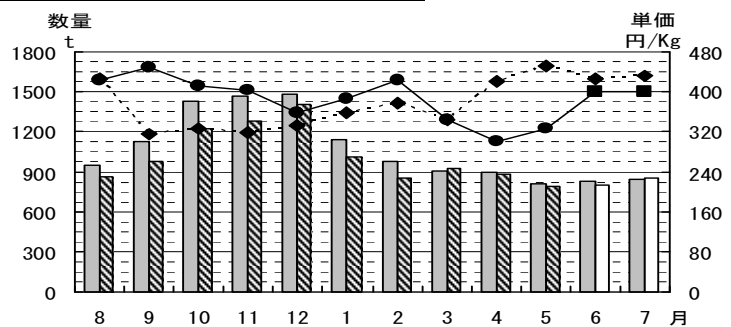
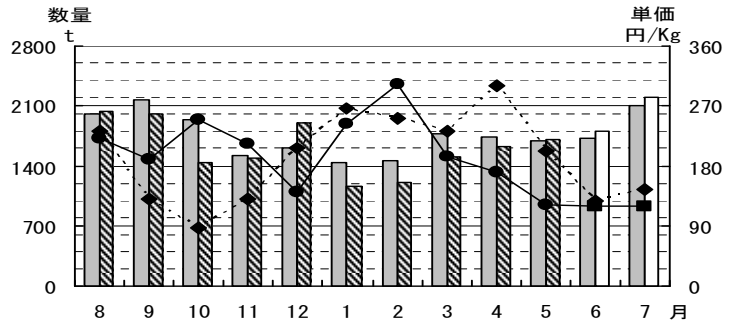
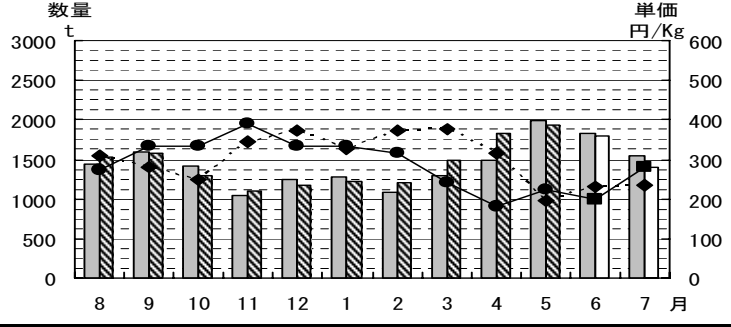
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	18年	6,265	67	58	59	86	長野 85%
	19年	6,644	60	50	58	73	群馬 9%
	20年	6,322	60	85	49	49	茨城 5%
	21年	5,759	53	47	53	59	北海道 1%
	22年	6,024	59	49	64	65	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	6,203	60	58	57	67	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	6,000	60	60	60	60	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 単価 円/kg</p>				
<p>長野からの入荷が中心となる。長野は曇天が多いものの生育は順調で豊作傾向、各産地とも徐々に集荷量が増加してくる。群馬も適度な日照もあり生育は順調。入荷量は前年並がとなり、価格についても前年並が見込まれる。</p>							
キヤベツ	18年	16,019	65	66	56	72	群馬 61%
	19年	15,284	88	74	96	93	岩手 14%
	20年	15,159	62	65	60	60	茨城 8%
	21年	16,628	62	66	61	61	長野 4%
	22年	17,760	84	69	91	91	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	16,170	72	68	73	76	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	17,500	70	65	70	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 単価 円/kg</p>				
<p>群馬、岩手からの入荷が中心となる。群馬の生育はやや遅れ気味ではあるが作柄については問題ない。岩手は定植遅れが7～10日程あり遅れは回復していない。入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>							
ほうれんそう	18年	1,068	639	567	535	839	栃木 23%
	19年	1,049	618	543	677	640	茨城 22%
	20年	1,189	482	463	474	513	群馬 21%
	21年	1,246	498	488	514	497	岩手 16%
	22年	946	651	547	725	728	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	1,100	571	519	577	634	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,000	550	500	550	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 単価 円/kg</p>				
<p>岩手と関東高冷地からの入荷が中心となる。群馬、栃木、茨城の生育は順調。岩手は病害虫が発生し現況少なめの入荷で推移。入荷量は今後の天候にもよるが、前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>							

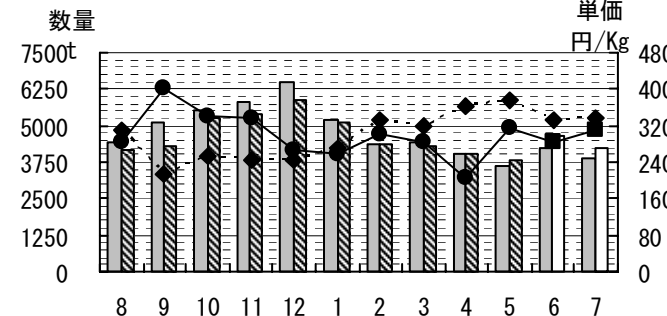
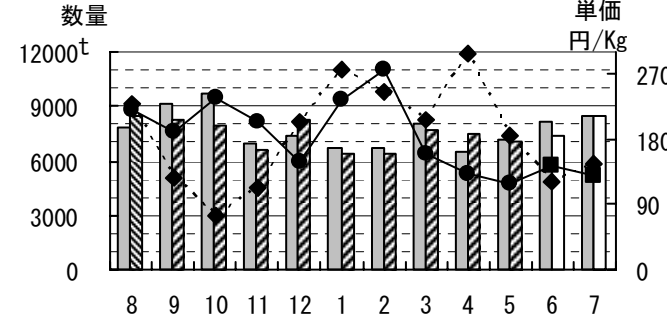
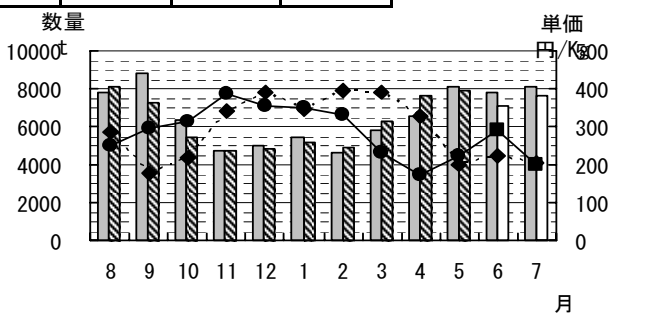
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	18年	806	375	341	370	409	愛知 26%
	19年	760	440	352	513	473	茨城 15%
	20年	865	375	359	391	376	大分 15%
	21年	897	384	390	385	379	北海道 8%
	22年	843	433	392	486	434	
	5カ年平均	834	401	368	427	412	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	850	400	380	420	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は、愛知が長ねぎ、大分、鳥取では白ねぎが中心。茨城産はいまだに震災の影響で入荷が控えめ。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。							
し タ	18年	2,331	125	102	83	199	長野 98%
	19年	2,209	170	115	153	242	群馬 1%
	20年	2,255	106	118	115	90	愛知 0%
	21年	2,111	108	86	117	118	北海道 0%
	22年	2,108	144	118	123	186	
	5カ年平均	2,203	131	108	118	167	に、 入荷量・価格の動き
	23年見通し	2,200	120	110	110	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は9割を長野が占める。6月下旬から7月上旬までは準高冷地産の残りが入荷されるが、7月からは高冷地産の入荷のみに切り替わる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。							
き ゆ	18年	1,569	260	280	347	171	長野 45%
	19年	1,445	264	176	228	413	北海道 22%
	20年	2,316	221	166	233	276	埼玉 7%
	21年	1,614	195	236	200	153	愛知 5%
	22年	1,287	235	207	245	255	
	5カ年平均	1,646	233	210	249	253	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,400	280	280	280	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
上旬から下旬にかけて、関東から高冷地へと産地が切り替わる。関東産が多く残っている一方で、高冷地産は生育がやや遅れており、作付面積が減少している。 全体では入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

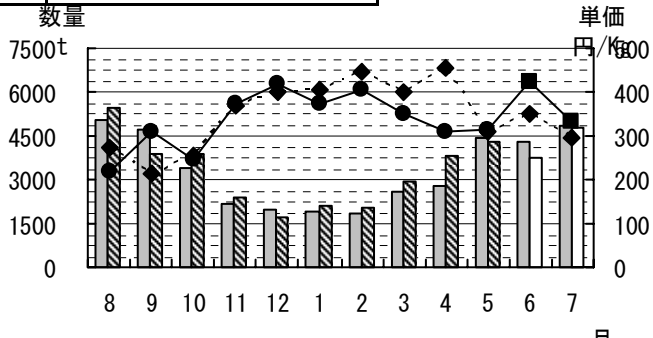
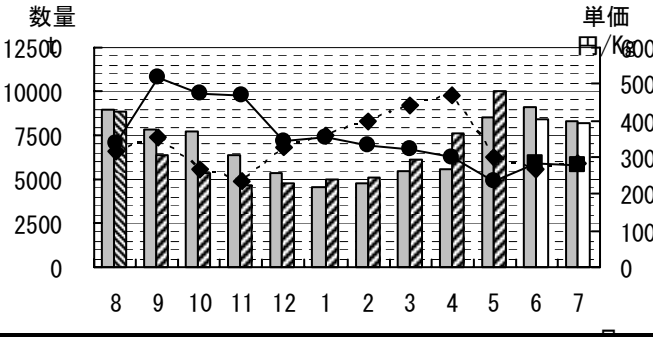
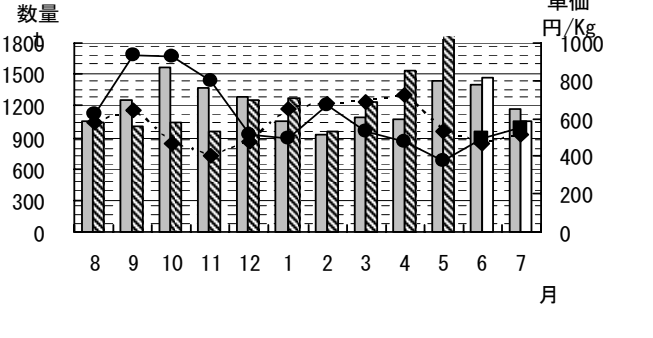
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	18年	3,886	308	275	323	328	茨城 61%
	19年	4,031	315	277	349	321	千葉 15%
	20年	4,348	253	292	250	219	中国 8%
	21年	4,132	338	360	356	306	埼玉 7%
	22年	3,902	337	312	403	307	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	4,060	309	303	335	295	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	4,200	310	310	310		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
茨城からの入荷が中心となる。茨城の生育は順調であるが、一部産地で遅れがみられる。7月はその遅れのずれ込み分と面積増もあり順調な入荷が期待できる。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。							
し た す	18年	8,794	130	93	82	225	長野 83%
	19年	8,242	164	107	145	236	群馬 12%
	20年	8,982	100	106	104	92	岩手 2%
	21年	9,016	104	89	110	111	千葉 1%
	22年	8,495	145	110	128	189	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	8,706	128	101	113	169	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	8,500	130	130	130		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
長野からの入荷が中心となる。長野の生育は曇天で若干の生育遅れはあるものの病害虫の発生もなく生育は順調で、群馬も概ね生育は順調。入荷量は前年並みで、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。							
き ゆ う り	18年	7,035	256	187	216	368	福島 41%
	19年	7,085	307	336	301	290	岩手 18%
	20年	8,468	168	227	162	126	秋田 11%
	21年	7,805	214	193	221	226	宮城 5%
	22年	8,135	204	240	216	171	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,706	227	236	221	230	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	7,600	200	220	200	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
福島を始め、岩手、秋田、宮城等、北産地からの入荷が中心になる。東北産全般に、春先の低温、現在の干ばつ、震災の影響等で生育遅れがみられる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並が見込まれる。							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	18年	993	316	258	286	427	愛知 31%
	19年	970	335	258	286	427	山梨 15%
	20年	1,119	233	305	228	183	群馬 13%
	21年	1,035	230	197	249	252	徳島 12%
	22年	1,025	306	305	336	289	
す	5カ年平均	1,028	282	265	276	311	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,000	300	320	285	290	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>夏なすが始まり、熊本から愛知や茨城へと産地が切り替わる。台風後の天候は良く、生育は順調。徳島では作付面積が減少している。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みの見込み。</p>							
ト マ ト	18年	1,619	267	257	276	268	岐阜 30%
	19年	1,465	297	252	315	321	愛知 26%
	20年	1,540	232	238	263	204	北海道 19%
	21年	1,486	276	245	283	296	三重 7%
	22年	1,518	285	248	265	335	
ト	5カ年平均	1,526	271	248	280	284	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,500	270	250	270	290	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は岐阜、北海道中心。天候不順で生育は遅れ気味。6月から7月はやや小玉傾向。今後は天気次第。5月から7月にかけての作は増えており、面積は維持している。</p> <p>入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
ミ ニ ト マ ト	18年	261	587	568	570	620	北海道 52%
	19年	285	556	533	562	570	愛知 24%
	20年	285	471	495	502	427	長野 7%
	21年	300	520	484	503	567	
	22年	334	544	495	553	581	
ト	5カ年平均	293	535	513	538	553	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	310	550	550	550	550	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道中心の入荷で、作付面積はやや増えている。生育は遅れ気味。茨城産はいまだに震災の影響で風評被害がある。6月に出荷している熊本、愛知産は残り少なくなっている。</p> <p>入荷量はかなり下回り、価格は前年並みの見込み。</p>							

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	18年	4,415	357	315	311	458	茨城 27%
	19年	3,990	362	283	438	380	栃木 26%
	20年	5,596	239	351	227	163	群馬 26%
	21年	4,958	266	288	283	240	埼玉 8%
	22年	4,866	297	335	325	250	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,765	299	317	310	288	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し	4,800	330	360	330	300		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>西南暖地が切り上がり、関東産地が入荷の中心となる。群馬では5月の日照不足の影響により果実肥大が遅れている。栃木では、5月の大風ですれや花落ちが散見されたが現在の出荷に影響は少ない。入荷量は前年並、価格は前月相場の流れから前年をかなり上回る見込み。</p>							
ト マ ト	18年	8,225	266	245	279	274	青森 20%
	19年	7,818	273	232	299	288	茨城 11%
	20年	9,424	228	257	240	197	栃木 11%
	21年	8,234	285	254	289	307	福島 10%
	22年	8,292	282	245	268	328	(愛知産比率 4%)
	5ヵ年平均	8,399	266	247	274	276	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し	8,200	280	270	290	280		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>東北産地の入荷が本格化してくる。各産地とも全般的に遅れ気味の生育であるが、量的には前年並みの見込み。福島については震災の影響が一部産地に残り、入荷減も予想される。 入荷量はやや少なかった前年並み、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
ミ ニ ト マ ト	18年	994	546	505	560	574	茨城 18%
	19年	1,046	511	478	511	540	福島 17%
	20年	1,200	454	501	492	395	千葉 12%
	21年	1,166	492	462	473	536	岩手 12%
	22年	1,176	511	461	483	582	(愛知産比率 8%)
	5ヵ年平均	1,116	501	481	502	523	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し	1,050	550	600	550	500		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>福島、岩手の東北産地からの入荷が増えてくる。東北産地の生育は3月の育苗期での低温の影響で遅れており7月上旬まで少ない。また、福島には原発規制区域内で出荷ができない産地もある。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬	(愛知産比率)	
ピーマン	18年	489	361	333	369	386	茨城 48%
	19年	460	359	269	364	486	岩手 27%
	20年	603	290	362	302	213	北海道 12%
	21年	507	299	301	286	310	
	22年	504	341	263	414	371	(愛知産比率 0%)
マ	5カ年平均	513	328	308	345	345	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	500	300	250	300	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は茨城中心。震災の影響で入荷量は減少している。岩手、北海道では低温の影響で生育が遅れがでている。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ばれい	18年	2,205	124	120	124	127	長崎 32%
	19年	2,038	98	86	98	106	静岡 27%
	20年	1,904	130	147	141	106	青森 14%
	21年	1,439	191	170	204	199	
	22年	1,556	185	201	204	154	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	1,828	140	140	148	134	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,600	180	180	180	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は7月上旬に長崎が終わり、中旬から青森に切り替わる。三重(四日市)、愛知(知多)では作付面積が減少してきている。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
たまねぎ	18年	4,298	79	78	75	83	兵庫 62%
	19年	4,379	69	69	71	69	愛知 18%
	20年	5,384	59	62	64	52	北海道 7%
	21年	4,193	97	98	110	90	佐賀 4%
	22年	4,004	92	96	86	94	
ね	5カ年平均	4,451	78	79	80	76	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	4,400	75	75	75	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、愛知から7月上旬から兵庫に切り替わる。作柄は過去2~3年悪かったが、今年は価格も落ち着いている。3,4月の作付は増えて、6,7月は減っている。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	18年	2,183	313	265	314	384	茨城 60%
	19年	2,160	336	215	328	518	岩手 25%
	20年	2,468	227	239	200	154	福島 6%
	21年	2,104	266	278	236	281	青森 5%
	22年	2,056	320	233	398	349	(愛知産比率 -%)
マン	5ヵ年平均	2,194	290	246	292	332	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	2,000	300	270	330	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城、岩手からの入荷が中心となる。茨城は生育順調であるが、温室ものの春ピーマンの切り上がりが早めとなる見込み。岩手は生育は順調で潤沢な入荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>							
白菜	18年	5,380	126	118	125	135	茨城 30%
	19年	6,021	86	81	86	93	千葉 20%
	20年	5,254	132	146	133	112	静岡 17%
	21年	4,976	184	167	189	197	長崎 14%
	22年	5,858	174	183	185	156	(愛知産比率 0%)
いしよ	5ヵ年平均	5,498	139	138	142	137	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	5,800	165	160	165	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心に、静岡、長崎からの入荷となる。各産地とも平年作が見込まれているが、千葉で作付けの減少がみられる。</p> <p>入荷量は前年並み、価格は高かった前年をやや下回るものの平年をかなり上回り堅調な推移となる見込み。</p>							
たまねぎ	18年	10,114	85	85	82	88	佐賀 45%
	19年	9,928	77	74	74	83	兵庫 26%
	20年	10,122	77	81	78	71	香川 10%
	21年	8,903	113	104	114	121	群馬 5%
	22年	9,253	108	104	103	114	(愛知産比率 2%)
ねぎ	5ヵ年平均	9,664	91	89	89	94	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	10,000	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>佐賀、兵庫、香川の入荷が中心となる。佐賀はほ場にわずかに残っている。ほとんどが貯蔵となっているが、例年よりも小玉傾向である。一方、兵庫、香川については肥大が進み大玉の出荷が期待できる。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

※「その他メロン」は「アールスメロン」以外のメロンをいう。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	18年	14,032	324	342	329	303	フィリピン 18%
	19年	13,215	333	341	339	319	愛知 17%
	20年	12,035	347	350	360	334	山形 7%
	21年	11,675	326	331	328	321	山梨 7%
	22年	11,793	336	349	335	328	
	5ヵ年平均	12,550	333	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	11,700	310	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は、愛知、山形、山梨。冬の低気温で、全体的に生育が遅れている。燃料を多く使い、経費が高いものは特に今後遅れが見られる。 入荷量は前年並みで、価格はかなり下回る見込み。							
アール メロン	18年	357	600	700	623	487	静岡 40%
	19年	331	551	591	539	516	愛知 39%
	20年	309	614	628	625	584	高知 14%
	21年	306	553	604	541	510	
	22年	308	582	651	601	501	
	5ヵ年平均	322	580	636	586	519	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	290	580	650	600	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、静岡中心。曇天が続いて日照不足であることと、燃料代が上がっていることで、ネットにひびが入っていたり、玉割れするなど、生育状況がよくない。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みの見込み。							
すいか	18年	3,663	126	155	123	108	愛知 31%
	19年	2,966	125	125	115	132	石川 24%
	20年	2,762	172	138	160	204	長野 16%
	21年	2,823	137	133	132	142	山形 9%
	22年	3,079	157	167	149	162	
	5ヵ年平均	3,059	142	144	135	147	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	3,000	140	140	140	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、石川、長野中心。愛知は作付面積が減っている。昨年は生育は悪かったが、今年は平年並み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	18年	44,681	330	374	328	296	山梨 15%
	19年	41,488	329	359	345	291	山形 14%
	20年	42,935	342	360	346	323	千葉 13%
	21年	43,979	323	331	332	309	フィリピン 10%
	22年	43,187	338	356	352	314	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	43,254	332	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	43,000	315	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>すいか類、もも、メロン類中心に入荷する。ももは山梨中心に入荷。春先の天候不順により生育が数日遅れている。すいかは東北・高冷地ものを除き順調。露地メロンは肥大良好で大玉傾向である。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ア ー メ ロ ン	18年	912	642	759	600	553	静岡 51%
	19年	866	582	620	542	580	千葉 16%
	20年	772	673	624	683	745	高知 9%
	21年	750	590	639	576	538	宮崎 6%
	22年	746	603	690	603	492	(愛知産比率 4%)
	5ヵ年平均	809	618	669	600	581	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	720	590	660	570	530	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡中心に入荷する。交配・生育期の天候不順により作柄にバラツキがみられ、例年より下位と等級の比率が高い。千葉の生育は順調で3L、4L中心の大玉傾向の予想である。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに下回ると見込まれる。</p>					
す い か	18年	11,644	140	129	142	174	千葉 26%
	19年	13,895	127	131	125	125	山形 20%
	20年	14,224	175	150	168	198	茨城 10%
	21年	14,653	153	145	156	157	神奈川 9%
	22年	15,467	173	176	166	174	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	13,977	155	147	152	166	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	16,000	165	160	160	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、茨城に加え、後半山形からの入荷が本格化する。千葉の生育は順調で、7月上まで出荷ピーク。山形も低温による定植遅れで4～5日の生育遅れであるがその後の生育・肥大は順調で下旬に本格入荷予定。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回ると見込まれる。</p>					

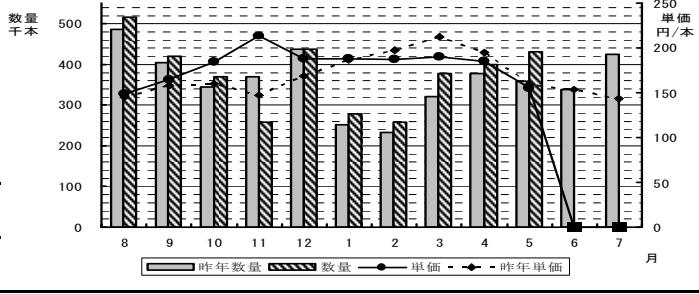
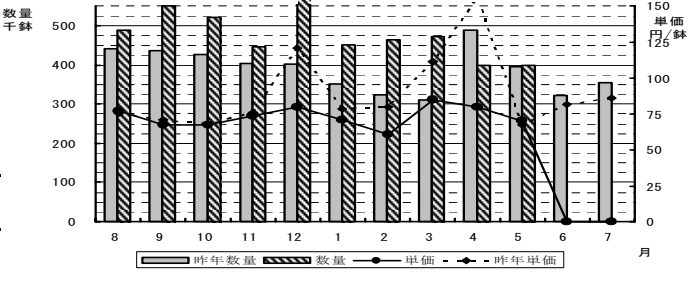
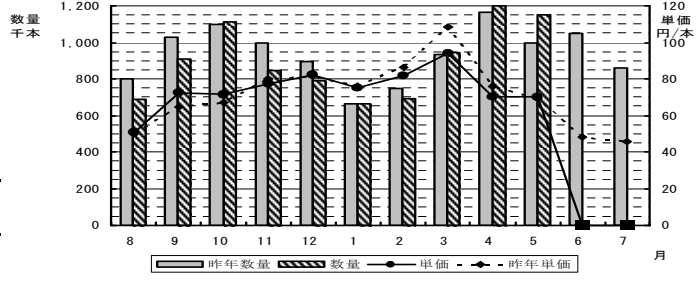
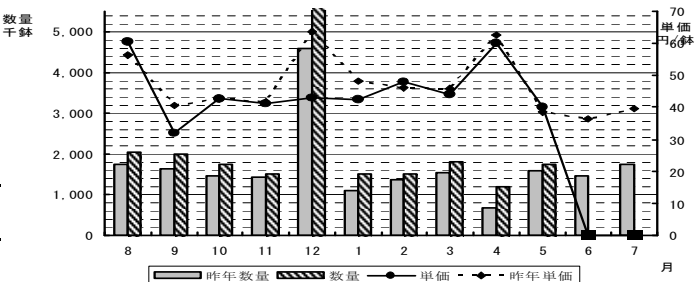
切花・鉢花の7月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 6月27日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	19年	3,090	36	
		20年	2,841	39	
		21年	2,982	34	
		22年	1,882	66	
		4ヶ年平均	2,699	42	
23年見通し	2,500	45			
	概要	愛知、長野、三重を中心に入荷。全体の出荷は7日から10日ほど遅れが見られている。愛知産の品種は「岩の白扇」「フローラル優花」「精の一世」「峻白」など。長野県産は震災の影響があり、8月にシフトしている。5月の遅霜の影響もあり生育は少し悪い。全体の入荷は冷え込みや震災の影響等でやや少なくなる見込み。			
小 ぎ	実績	19年	2,409	23	
		20年	2,791	20	
		21年	2,924	20	
		22年	1,758	40	
		4ヶ年平均	2,470	24	
23年見通し	2,000	30			
	概要	愛知、長野、関西、関東方面から入荷。今年は寒さの影響から生育はやや悪い。3月の震災で7月出しの作付は遅れが見られ少なくなる見込み。関東方面では作付の遅れから8月～9月にかけての出荷に照準を合わせており、結果7月後半からの出荷となる。全体の数量は7月に関してはやや少なめ、価格はやや高めで推移する見込み。			
カー ネ ー シ ョ ン	実績	19年	1,160	41	
		20年	1,172	36	
		21年	1,106	37	
		22年	1,183	39	
		4ヶ年平均	1,155	38	
23年見通し	1,200	38			
	概要	長野、北海道等から入荷。低温により5日程の遅れがあるが、少しずつ回復し、ピークを迎える。上旬は新盆需要で堅調であるが、後半は少し苦しい展開が予想される。			
か す み	実績	19年	182	57	
		20年	159	60	
		21年	184	52	
		22年	104	69	
		4ヶ年平均	157	58	
23年見通し	120	60			
	概要	長野、北海道、福島からの入荷。一般需要は望めず、業務中心の動きになる。一定数の価格は安定しているが、入荷量次第では厳しい販売となる。			

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	19年	516	133	 <p>数量千本</p> <p>単価円/本</p>
		20年	484	117	
		21年	462	124	
		22年	425	143	
	4ヶ年平均		472	129	
	23年見通し		460	135	
概要	新潟、岐阜中心の入荷。オリエンタル、LAは順調に入荷で7月初旬から増えてくる。暖地物もあり、販売は苦しい。新盆需要はあるが、量的には少なく、業務の動きに期待したい。鉄砲は入荷少なく、価格は安定。				
洋らん	実績	19年	358	94	 <p>数量千鉢</p> <p>単価円/鉢</p>
		20年	362	83	
		21年	372	77	
		22年	354	86	
	4ヶ年平均		362	85	
	23年見通し		370	80	
概要	愛知、静岡、鹿児島等と輸入物が入荷。コショウランは夏に向けて減少傾向、カトレアもあまり多くない。品質的に良い物を求められるが、それに反して価格は伸び悩みの状況。				
ばら	実績	19年	908	50	 <p>数量千本</p> <p>単価円/本</p>
		20年	1,021	39	
		21年	1,024	44	
		22年	858	46	
	4ヶ年平均		953	45	
	23年見通し		900	46	
概要	愛知、岐阜、和歌山、山形中心に入荷。三重は株休めに入るため、特定の品種は他産地や他品種の代用が必要になってくる。また、夜冷の効果も徐々に出てくるため、産地により品質差が出てくる。入荷量、価格等は前年並み。				
枝も	実績	19年	1,354	45	 <p>数量千鉢</p> <p>単価円/鉢</p>
		20年	1,554	43	
		21年	1,308	43	
		22年	1,751	40	
	4ヶ年平均		1,492	42	
	23年見通し		1,750	40	
概要	愛知、静岡、岐阜等から入荷。新芽も固まり、栽培物は増加する。山取り物は生産量も少なく、引合いは強いと思われる。新盆需要に期待し、法月の入荷も増加。				

主要農林水産物の輸出入実績 (2011年)

1 輸入実績

品名	4月						4月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	84,879	112.5	7,331,157	95.3	86	84.8	347,577	128	30,241,678	113	87	88.3
トマト	163	111.4	53,838	106.7	330	95.7	641	46	209,512	37	327	81.6
たまねぎ	31,825	120.2	1,530,361	111.0	48	92.3	151,262	136	7,382,463	134	49	98.6
にんにく	1,418	80.6	346,517	126.6	244	157.0	5,504	89	1,286,361	138	234	155.7
ねぎ	4,117	98.7	339,682	84.1	83	85.2	17,341	117	1,484,984	112	86	95.7
ブロッコリー	3,110	86.3	556,234	70.9	179	82.2	9,680	102	1,729,978	99	179	96.8
結球キャベツ	4,342	150.0	144,995	120.6	33	80.4	16,084	210	542,845	189	34	90.1
にんじん・かぶ	9,520	197.6	484,262	181.8	51	92.0	30,340	286	1,508,939	274	50	95.6
ごぼう	3,586	128.9	419,608	275.7	117	213.9	14,416	130	1,464,571	248	102	190.5
えんどう	176	92.8	42,521	72.8	241	78.5	692	78	189,572	81	274	104.3
アスパラガス	1,066	72.6	528,590	72.6	496	100.0	6,574	97	3,060,362	97	466	100.5
まつたけ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
しいたけ	359	76.2	90,966	78.3	254	102.8	2,305	85	591,700	88	257	104.0
かぼちゃ	19,539	93.5	1,139,486	83.2	58	88.9	70,799	104	4,258,910	99	60	95.2
果実(生鮮・乾燥)	204,246	100.7	24,337,717	100.6	119	99.9	632,840	100	66,483,922	98	105	98.1
バナナ	103,693	96.3	7,555,071	90.9	73	94.3	350,178	98	22,111,708	92	63	93.8
パイナップル	12,631	86.2	734,523	83.4	58	96.8	45,962	109	2,627,544	103	57	94.8
レモン	4,193	103.5	430,773	74.8	103	72.3	14,372	95	1,553,299	76	108	80.0
オレンジ	15,210	107.9	1,440,832	103.6	95	96.0	43,773	117	4,122,429	115	94	98.7
グレープフルーツ	26,292	92.6	2,402,932	80.1	91	86.5	78,625	86	7,314,009	76	93	88.1
メロン	4,388	199.7	455,937	145.7	104	73.0	12,384	128	1,315,806	121	106	94.0
ぶどう	2,587	122.5	397,438	143.5	154	117.1	5,492	100	956,902	112	174	112.3
キウイ	12,825	140.2	4,067,267	138.7	317	98.9	13,207	144	4,144,469	141	314	97.8
いちご	1	-	874	-	874	-	15	70	11,841	87	788	123.6
切花(生鮮・乾燥)	2,754	90.9	2,106,418	84.8	765	93.3	13,450	97	9,700,944	96	721	98.8
鳥獣肉類	169,050	104.8	75,137,563	109.0	444	104.1	596,861	109	260,575,337	113	437	103.9
牛肉(くず肉含む)	48,094	108.6	20,270,080	107.3	421	98.8	164,451	110	68,465,378	113	416	102.1
豚肉(くず肉含む)	71,544	103.1	37,553,036	103.2	525	100.1	259,296	107	135,849,800	107	524	100.0
鶏肉	40,198	100.8	11,094,825	125.3	276	124.3	143,101	109	37,078,506	134	259	123.1
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	161,864	94.9	86,692,119	100.4	536	105.8	544,577	95	295,775,646	107	543	112.5
まぐろ類	15,672	95.6	15,126,031	124.5	965	130.2	66,539	97	60,913,901	125	915	129.2
さば・さんま・あじ・いわし	5,519	91.5	1,010,915	113.4	183	124.0	29,627	86	5,066,142	94	171	109.6

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	195	24.8	41,249	15.4	211	62.1	10,576	79	3,375,779	86	319	109.2
うんしゅうみかん	-	-	-	-	-	-	143	64	90,496	102	633	158.1
りんご	106	13.9	29,432	12.5	277	89.9	10,086	78	2,968,168	83	294	107.1
なし	-	-	-	-	-	-	21	49	8,750	48	412	97.0
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	174,021	68.7	-	-	-	-	766,572	89	-	-
緑茶	216	138.3	412,669	140.6	1,909	101.7	717	107	1,330,836	106	1,857	99.4

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成17年=100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	21年平均	100.3	103.3	98.9	105.6	104.4
	22年12月	99.6	107.3	109.8	103.7	102.8
	23年 1月	99.4	112.4	113.0	104.0	103.0
	2月	99.3	116.3	107.4	103.7	100.9
	3月	99.6	111.6	102.3	104.0	102.0
	4月	99.9	110.1	89.5	104.4	102.3
	愛 知 県	21年平均	100.9	100.6	100.0	102.4
22年12月	99.2	98.9	105.3	102.6	97.1	
23年 1月	99.0	104.6	115.8	102.5	97.9	
2月	98.9	106.8	107.9	100.5	95.1	
3月	99.2	99.3	100.9	101.4	98.4	
4月	99.5	103.0	88.8	104.7	100.9	

項目 年月		農業物価指数 (平成17年=100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	21年平均	95.7	98.0	100.7	91.5	98.5
	22年12月	100.8	87.3	108.0	141.0	104.0
	23年 1月	102.2	85.6	116.4	134.4	99.1
	2月	105.1	85.6	126.4	134.1	102.3
	3月	100.3	85.6	113.0	103.7	103.3
	4月	95.6	86.0	92.0	81.1	103.4

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国…総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県…愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、 「コシカ」 以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
21年平均	2,236	158	172	603	419	313	142	314	203	510	615	201	447
22年12月	1,810	168	147	666	364	331	122	340	294	553	577	159	470
23年 1月	1,835	168	140	736	466	328	120	302	316	644	575	178	471
2月	1,827	203	163	722	644	321	136	305	316	583	556	165	494
3月	1,806	193	181	635	397	361	151	333	292	485	525	160	476
4月	1,777	162	266	577	409	484	158	489	287	386	511	156	467
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1本	100g					
21年平均	604	312	382	143	254	682	603	162	166	326	223	752	479
22年12月	525	350	385	169	203	764	558	149	169	331	213	865	399
23年 1月	672	328	392	163	214	822	540	148	151	296	214	861	414
2月	699	319	382	151	217	842	544	145	160	294	211	744	396
3月	731	268	354	136	222	785	536	151	166	293	204	802	412
4月	-	307	378	119	230	878	552	145	156	302	851	222	405

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる??

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.457
平成23年7月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417